テレビ(SmartVision)ご利用時のご注意

本紙には、本機に添付のマニュアル『テレビを楽しむ本』に記載されていない追加の注意事項について説明しています。『テレビを楽しむ本』と合わせて大切に保管してください。

「録画モード変換」は、他のテレビ機能と同時に実行できません。

●録画モード変換をするときのご注意

（追加先 ：『テレビを楽しむ本』－「PART5 録画番組を DVD などに保存する」－「録画モードがダイレクトの番組を録画モード変換する」－「録画モード変換について」－「録画モード変換をするときの注意」）

・録画モード変換は、他のテレビ機能（テレビ視聴、番組の録画、タイムシフト、番組表の取得など）と同時に実行できません。

・録画モード変換中は、リモコンや操作パネルの【録画】ボタンを押しても録画できません。

・録画モード変換中に予約録画が開始された場合は、録画モード変換が終了しますので、録画終了後に再度、録画モード変換を実行してください。

●番組を光ディスクに保存するときのご注意

（追加先 ：『テレビを楽しむ本』－「PART5 録画番組を DVD などに保存する」－「番組を光ディスクに保存する」 に上記タイトルの注意事項が追加となります。）

・番組を光ディスクに保存するときの「録画モード変換」（もしくは、「デジタル放送画質の変換」）は、他のテレビ機能（テレビ視聴、番組の録画、タイムシフト、番組表取得など）と同時に実行できません。

・番組を光ディスクに保存するときに、「録画モード変換」（もしくは、「デジタル放送画質の変換」）を実行している間は、リモコンや操作パネルの【録画】ボタンを押しても録画できません。

・番組を光ディスクに保存するときに、「録画モード変換」（もしくは、「デジタル放送画質の変換」）を実行している間に予約録画が開始された場合は「録画モード変換」（もしくは、「デジタル放送画質の変換」）が終了します。予約録画終了後に、再度、光ディスク保存を行ってください。

●番組表を取得するときのご注意

・番組の録画中、録画モード変換中は、手動で番組表を受信することができません。タイムシフトモードのときに手動で番組表を受信すると、ライブモードに切り替わります。また、番組の録画中、テレビ視聴中、タイムシフ視聴中、録画モード変換中、録画番組の再生中は、自動で番組表の受信を行いません。

・110 度 CS デジタル放送の番組表は、ご購入時には自動的に受信しない設定となっています。自動受信が必要な場合には、設定を変更してください。設定方法について、詳しくは『テレビを楽しむ本』－「PART2 テレビを見る」－「番組表を使う」－「番組表の受信時刻を変更する」をご覧ください。

●録画モード選択時のご注意

・録画モード「ロング」は、リモコンの【録画】ボタンを押下して、今見ている番組を録画するときにのみ、選択できます。なお、「ロング」で録画するためには、あらかじめ、リモコンのフタを開けて【録画モード】ボタンで「ロング」に変更しておく必要があります。

・録画モード「ロング」で番組を録画中に、もう一方のレコーダで予約録画が開始されると、「ロング」で録画している番組の録画を停止します。

●独立データ放送視聴時のご注意

・独立データ放送チャンネル（データ放送のみで放送されているチャンネル）を視聴する場合には、リモコンのモードを「データ放送モード」に変更し、ご使用ください。詳しくは『テレビを楽しむ本』－「付録 サブメニューについて」をご覧ください。

853-810913-081-A

810913081A

同時動作について

現在実行中の機能＼次に実施する機能		ライブモード	タイムシフトモード	予約録画 録画モード ダイレクト	予約録画 録画モード ファイン/ファインロング	手動録画 録画モード ダイレクト	手動録画 録画モード ファイン/ファインロング	手動録画 録画モード ロング	録画番組再生	予約による番組表取得	手動による番組表取得	録画モード変換、画質変換を伴う光ディスク書き込み
ライブモード		△※12	△※12	○	○	○	○	○	△ ※4	×	○	△ ※4
タイムシフトモード		△※14	△※14	○	○	○	○	△※15	△ ※5	×	△※6	△ ※13
予約録画	録画モード ダイレクト	○		○	○	○	○		○	×	×	×※
予約録画	録画モード ファイン/ファインロング			○	△ ※	○						
手動録画	録画モード ダイレクト	○		○	○	○	○			×	×	×※
手動録画	録画モード ファイン/ファインロング			○	△ ※	○						
手動録画	録画モード ロング	○	×	△ ※2	△ ※2	△ ※3			○	×		×※
録画番組再生		△※10		○						×	○	△※10
予約による番組表取得 / 手動での番組表取得		△※	△※11	△※11		△※11			○			△※11
録画モード変換、画質変換を伴う光ディスク書き込み				※						×	×※	

・［斜線枠］は、発生しない組み合わせです。
・「次に実施する機能」を実行させた時に、現在の機能と次の機能の両方が実行できる場合は「○」、「次に実施する機能」が実行できない場合は「×」、としています。
「次に実施する機能」が期待通りに実行できない場合や、現在の機能が使えなくなるなどの場合は△となります。その場合の詳細は注釈を参照してください。

※1 ：画質変換および録画モード変換を開始する時、変換終了時刻を予測した時間内に予約がある場合、録画モード変換は実行できません。
録画中は画質変換および録画モード変換できません。
画質変換および録画モード変換の終了推測時間が延びて予約録画と重複する場合は、その時点で、録画モード変換を停止し予約録画を実行します。
※2 ：手動で録画モード「ロング」の録画を実施中に予約録画が始まると、予約録画が優先動作し「ロング」の録画を中止します。その際に中止メッセージを表示します。
※3 ：手動で録画モード「ロング」の録画を実行中に、別レコーダで「ダイレクト」の手動録画を実行しようとすると、どちらの録画を実施するか選択画面を表示します。
※4 ：ライブモードの映像表示を停止して、次に実施する機能を実行します。
※5 ：タイムシフトモードでの映像表示を停止して、録画番組再生を行います。ただし、タイムシフトモードは継続します。
※6 ：タイムシフトモードからライブモードに切り替わり番組表を取得します。
※7 ：次に実施される予約録画の録画モードを「ダイレクト」に変更して録画を行います。
※8 ：番組表の取得を中止します。レコーダを切り替えて視聴する場合は番組表の取得が可能です。
※9 ：マウスで使う画面を表示しているとき、メッセージを表示します。リモコンで使う画面では、番組表を取得するための操作ができません。
※10：録画番組の再生を停止して、次に実施する機能を実行します。
※11：番組表の取得を中止し、次に実施する機能を実行します。
※12：切り替える前のレコーダ映像は表示されず、切り替え後のレコーダ映像が表示されます。
※13：タイムシフトモードを終了し、録画モード変換を実行します。
※14：タイムシフトモードの映像表示を停止し、切り換え後のレコーダ（ライブモード/タイムシフトモード）の映像を表示します。切り換え前のレコーダのタイムシフトモードは継続します。
※15：先に実行していたタイムシフトモードを終了します。